

第2期大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン

令和7年5月 策定

目 次

1 定住自立圏の名称	
(1) 定住自立圏の名称	2
(2) 圏域を形成する市町の名称	2
2 定住自立圏共生ビジョンの目的	
(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	2
(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間	2
3 圏域の概況	
(1) 圏域市町の概況	3
(2) 人口の推移	4
(3) 都市機能の集積状況	5
4 圏域の将来像	8
5 具体的な取組	
(1) 体系図	9
(2) 生活機能の強化	10
(3) 結びつきやネットワークの強化	29
(4) 圏域マネジメント能力の強化	33

1 定住自立圏の名称

(1) 定住自立圏の名称

大船渡・住田定住自立圏

(2) 圏域を形成する市町の名称

大船渡市及び住田町

2 定住自立圏共生ビジョンの目的

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本ビジョンは、大船渡市と住田町の間で締結した定住自立圏形成協定に基づき、魅力ある定住自立圏を形成するため、圏域全体の将来像やその実現に向けて推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

定住自立圏として、互いに連携・協力し、役割を分担しつつ、圏域住民が健康で安心して暮らすために必要な生活機能の確保やそれぞれの地域資源等を活用した圏域全体の活性化を図るため、本ビジョンにおける分野ごとの具体的な取組を通じて、各種支援やサービスの充実、生活利便性の向上、産業の活性化等を推進し、誰もが住み続けたいと思えるような魅力ある圏域を形成します。

(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行うものとします。

3 圏域の概況

(1) 圏域市町の概況

本圏域は、大船渡市及び住田町で構成され、岩手県の東南部に位置しています。

圏域の面積は約 660 km²で、そのうち森林面積が 561 km²を占め、人口密度は 56.1 人/km²（令和 6 年 10 月 1 日現在）となっています。東南側は、急峻な山地が海岸まで迫る典型的なリアス海岸を有して太平洋に面し、内陸部にかけては、圏域の大部分が山林で占められ、その麓の平坦地に集落が形成されています。

① 大船渡市

- ・ 人口：32,203 人、世帯数：14,754 世帯（令和 6 年 10 月 1 日現在）
- ・ 面積：322.51 km²

大船渡市は、明治 12 年に盛町に郡役所が設置され、気仙地域の中心地として様々な分野で重要な役割を担い、明治 30 年代に大船渡港を生かした臨海型の工業都市建設が構想され、工業の導入が図られました。昭和 27 年に 2 町 5 村が合併して市制を施行し、その後、低開発地域工業開発促進法による工業開発地域に指定され、臨海型工業都市の形成を目指して、積極的に工業導入を図るとともに、漁業や水産加工業が盛んに営まれ、工業・水産業のまちとして発展し、平成 13 年には、気仙郡三陸町と合併し、合併建設計画に基づき、各種都市基盤や産業基盤の整備を進めてきました。

東日本大震災では、未曾有の被害を受けましたが、平成 23 年 10 月に令和 2 年度を目標年次とする大船渡市復興計画を策定し、復興に向けて、官民一体となって取組を進め、同計画に搭載した 257 事業全てが完了に至っています。

令和 3 年に「大船渡市総合計画 2021」を策定するとともに、目指すべき将来都市像を「ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」とし、「地場企業の振興」、「子ども・子育て支援の充実」、「デジタル化及びシティブロモーションの推進」等を重点的に推し進め、人口減少と少子高齢化による状況の変化等に対応した各般の取組を展開しています。

② 住田町

- ・ 人口：4,675 人、世帯数：2,052 世帯（令和 6 年 10 月 1 日現在）
- ・ 面積：334.84 km²

住田町は、古くは金の産地として多くの労働者、商人が集まり、内陸部と沿岸部を結ぶ宿場町として発展してきました。昭和 30 年 4 月に世田米町、上有住村、下有住村の 1 町 2 村が合併し、住田町が誕生しました。農林業を基幹産業とし、林業については、森林・林業の活性化を図るだけでなく、森林資源の有効活用や環境に配慮した森林経営の確立も合わせてまちづくりを進め、公共施設における町産材の利用を図るとともに、木質バイオマスエネルギーの利用を進め、また、農業については、耕畜連携による循環型農業の構築や農林商工連携による地域資源の活用の取組を進めてきました。

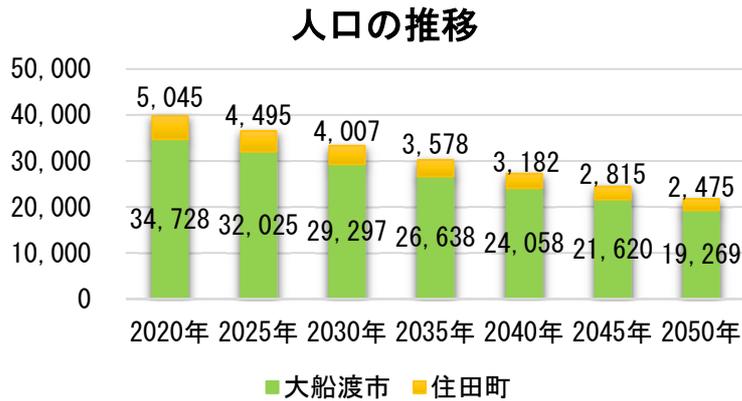
人口減少と高齢化が進む中で、山積する課題を解決するため、「豊かな緑と水に育まれ安らぎとにぎわいが調和する共生の町住田」を基本理念とし、「医・食・住」の充実に重点的に取り組むとともに、若者や女性を始めとする多様な存在を認め合い、お互いを支え合い誰もが活躍できる地域共生社会の実現、さらには東日本大震災後方支援自

治体としてのつながりや「関係人口」との交流を広げ、人口減少社会の将来を見据えたまちづくりを進めています。

(2) 人口の推移

令和6年10月1日時点の圏域の総人口は36,878人で、直近の令和2年（2020年）国勢調査人口39,773人と比較して7.3%（2,895人）減少しています。

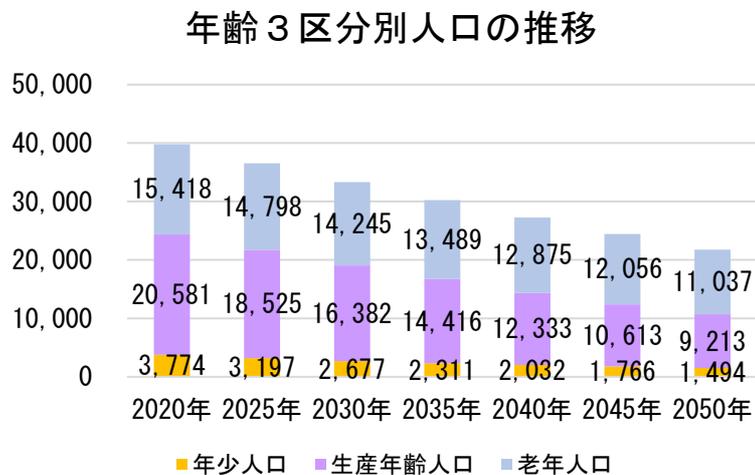
また、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が発表した「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」によれば、30年間（令和2年～令和32年）（2020～2050年）で18,029人減少すると見込まれています。



出典：2020年は国勢調査、2025年以降は社人研（令和5年12月公表）データ

圏域の年齢3区分別人口構成比は、令和2年度（2020年度）以降、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）及び老年人口（65歳～）が一貫して減少すると見込まれています。

令和2年国勢調査人口における年齢3区分別の人口割合は、年少人口9.5%（3,774人）、生産年齢人口51.7%（20,581人）、老年人口38.8%（15,418人）となっていますが、令和32年（2050年）の推計では、年少人口6.9%（1,494人）、生産年齢人口42.4%（9,213人）、老年人口50.7%（11,037人）と見込まれ、少子高齢化が進行することが予想されています。



出典：2020年は国勢調査、2025年以降は社人研（令和5年12月公表）データ

(3) 都市機能の集積状況【大船渡市（中心市）】

分野	都市機能	施設名
医療	公的医療機関	岩手県立大船渡病院 大船渡市国民健康保険綾里診療所・越喜来診療所・吉浜診療所・ 歯科診療所
	初期救急医療 機関	岩手県立大船渡病院 在宅当番医（大船渡市・陸前高田市・住田町が気仙医師会及 び気仙歯科医師会に委託）
	二次救急医療 機関	岩手県立大船渡病院
	三次救急医療 機関	岩手県立大船渡病院救命救急センター
	市内医療機関	岩手県立大船渡病院 一般診療所19（大船渡市国民健康保険綾里診療所・越喜来診療 所・吉浜診療所、大津小児科ファミリークリニック、山崎内科 医院、鳥羽整形外科医院、地ノ森クリニック、医療法人きくた、 菊池医院、飯塚眼科医院、山浦医院、えんどう消化器科内科ク リニック、及川皮膚科クリニック、いとう耳鼻咽喉科クリニッ ク、岩渕内科医院、滝田医院、ちば内科診療所、うのうらクリ ニック、石倉クリニック） 歯科診療所14（大船渡市国民健康保険歯科診療所、後藤歯科医 院、ほりのうち歯科医院、ちば歯科医院、いわぶち歯科、渡辺 歯科クリニック、広沢歯科医院、及川歯科医院、細川歯科医院、 いいた歯科クリニック、橋爪歯科医院、峰岸歯科医院、くまか み歯科クリニック、気仙訪問歯科診療所）
福祉	障害者支援施設 等	障害者支援施設 1（吉浜荘） 生活介護 2（慈愛福祉学園デイサービスセンター、ゆうき 社） 短期入所 4（吉浜荘短期入所事業所、ケアホーム希望、むく ろじ、こすもすの家） 共同生活援助 5（こすもすの家、ケアホーム希望、Episode I、むくろじ、グループホーム「もみじ」） 就労継続支援 B 型 8（慈愛福祉学園、朋友館、星雲工房、ゆ うき社、@かたつむり、エクセルシオール、ポプラ、就労継 続支援 B 型事業所「蒼」）
	高齢者福祉施設 等	デイサービスセンター等 16（にぎわい・ぬくもり・気仙苑・大 船渡市・JA おおふなと立根・JA おおふなと日頃市・うえの ケアサービス・さんりくの園・綾の里・丸森・ふくろう機能訓 練センター・とまり・であいの樹・ひまわり倶楽部・ミニデイ うえの・おたすけ） ショートステイ 7（ひまわり・富美岡荘・気仙苑・蔵ハウス 大船渡・さんりくの園・つばきの丘・百年の里） 小規模多機能ホーム 7（後ノ入・平・さんりく・つばきの丘・ 綾の里・ひころいちの郷・森と海のまなびやよしはま） グループホーム 7（さんりく・綾の里・まちぐるみ・平・後 ノ入・ひまわり・さくら亭） 施設サービス 8（ひまわり・富美岡荘・気仙苑・蔵ハウス大

分野	都市機能	施設名
福祉	高齢者福祉施設等	船渡・つばきの丘・成仁ハウス百年の里・さんりくの園(2)) 養護(盲)老人ホーム(祥風苑)
	児童福祉施設等	保育所4(大船渡・明和・蛸ノ浦・日頃市保育園) 認可外保育施設(ドレミ保育所) 幼稚園(海の星幼稚園) 認定こども園8(盛・いかわ・立根・末崎・あかさき・綾里・越喜来・吉浜こども園) 放課後児童クラブ11(ゆうゆう、さくらりっこ、末崎学童保育会希望の丘、にこにこ浜っ子クラブ、たっせ学童クラブ、うみねこキッズ、キッズクラブいかわ、五葉キッズ、キッピン学童クラブ、りょうりキッズ、おきらい放課後児童クラブ) 地域子育て支援センター4(つどいの広場わいわいステーション、おひさま広場、ひだまり、すくすくルーム) 児童発達支援施設2(ひまわり教室、慈愛福祉学園デイサービスセンター) 放課後等デイサービス施設2(慈愛福祉学園デイサービスセンター、空の青)
教育	大学	北里大学海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センター
	高等学校	岩手県立大船渡高等学校、大船渡東高等学校
	特別支援学校	岩手県立気仙光陵支援学校
	認定職業訓練校	職業訓練法人気仙職業訓練協会気仙高等職業訓練校
文化・スポーツ	文化ホール	市民文化会館、市民交流館・カメラアホール、三陸公民館、防災観光交流センター
	図書館	市立図書館
	博物館	市立博物館
	スポーツ施設	市民体育館、テニスコート、弓道場、田中島グラウンド、三陸B&G海洋センター、赤崎グラウンド、市営球場、山村広場、三陸総合運動公園
産業	農林水産業・観光関連施設	鹿の森公園(森林体験交流センター)、森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)、総合交流ターミナル施設(世界の椿館・碁石)、魚市場、防災観光交流センター、碁石海岸インフォメーションセンター、碁石海岸キャンプ場、碁石海岸レストハウス、綾里・越喜来浪板・吉浜海水浴場
	大規模商業施設	大船渡ショッピングセンター、ショッピングプラザマイヤ、サンデー大船渡店、マイヤ赤崎店、マルニ大船渡ショッピングセンター、南三陸ショッピングセンター、キャッセン大船渡ショッピングセンター、キャッセン大船渡 キャッセンモール&パティオ、カワチ薬品大船渡店 ※ 大規模小売店舗立地法に基づく届出店舗の名称を記載
	金融機関	銀行3(岩手銀行盛・大船渡支店、東北銀行大船渡支店、北日本銀行大船渡支店) 信用金庫2(気仙沼信用金庫盛・大船渡支店、東北労働金庫大船渡支店) 農業協同組合(本店、大船渡・猪川・三陸支店)

分野	都市機能	施設名
産業	金融機関	東日本信用漁業協同組合連合会（大船渡支店、綾里営業店、末崎・赤崎・越喜来・吉浜出張店） 郵便局（大船渡・大船渡駅前・細浦・赤崎・大船渡猪川・綾里・三陸・吉浜郵便局）
交通	鉄道	三陸鉄道（7駅）、JR大船渡線（BRT：バス高速輸送システム／9駅）
	国道	国道45号、国道107号
	道の駅	道の駅「さんりく」
行政	国の出先機関等	三陸国道事務所大船渡維持出張所、大船渡区検察庁、三陸中部森林管理署、三陸復興国立公園管理事務所大船渡管理官事務所、函館税関大船渡税関支署、大船渡税務署、盛岡地方法務局大船渡出張所、気象庁大気環境観測所、大船渡特別地域気象観測所、大船渡労働基準監督署、大船渡公共職業安定所
	県の出先機関等	大船渡警察署、沿岸広域振興局大船渡地区合同庁舎、大船渡職業能力開発センター、大船渡農業改良普及センター、大船渡保健所
広域行政	消防	大船渡地区消防組合
	し尿処理	気仙広域連合
	ごみ処理	大船渡地区環境衛生組合
その他	火葬場	おおふなと斎苑

4 圏域の将来像

大船渡市と住田町は、通勤や通学等を始め、共通の生活圏域として密接な関わりがあることから、一般廃棄物の収集や消防に関する事務について、一部事務組合を設置して共同で事務処理を行う等、連携して圏域の住民に行政サービスを提供するとともに、その他の分野においても、相互に協力しながら、多様な取組を進めてきました。

しかしながら、急速に進む人口減少・少子高齢化により、生産年齢人口の減少による地域経済の縮小、担い手不足による地域コミュニティの衰退等を招き、今後、大きな影響を及ぼすことが懸念される中、ICT技術の進化による産業構造の変化や三陸沿岸道路及び東北横断自動車道釜石秋田線等の整備促進により、生活圏・経済圏は一層広域化し、住民ニーズも多様化・高度化しています。

両市町においては、こうした事態に立ち向かう施策を推進しなければならず、それぞれの総合計画を基軸として、重点施策を定める等しながら、適時適切な対応を図っていますが、そうした施策についても、「地域経済の振興」や「医療・福祉の拡充」、「DX」や「シティプロモーションの推進」等、市町の枠にはとどまらない、外部との連携が求められるものとなっています。

このことから、大船渡市及び住田町は定住自立圏を形成し、互いの意思を尊重して更に連携を深めながら、将来にわたって安心して暮らすことができる持続可能な地域社会の形成に向けて、圏域における人口減少の抑制に資する各種施策を一層強く意識するとともに、中長期的な視野で取り組むものです。

【圏域が目指す将来人口】

(単位：人)

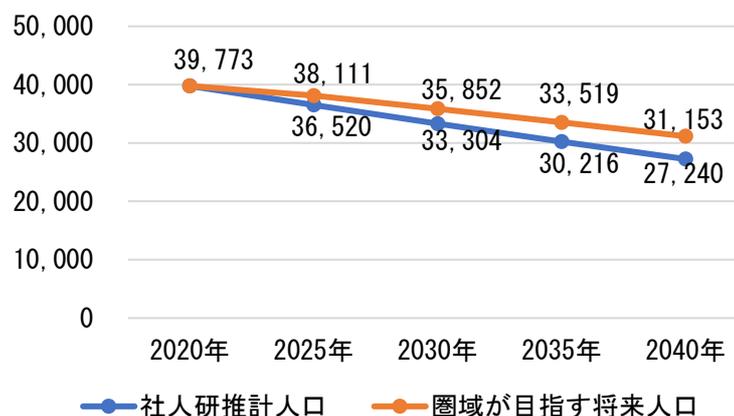
年 区分	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年
社人研 推計人口	39,773	36,520	33,304	30,216	27,240
圏域が目指す 将来人口	39,773	38,111	35,852	33,519	31,153

出典

上段：2020年は国勢調査、2025年以降は社人研（令和5年12月公表）データ

下段：2020年は国勢調査、2025年以降は大船渡市人口ビジョン（改訂版）及び住田町総合計画の合算データ

将来人口



5 具体的な取組（大船渡市と住田町で締結した定住自立圏形成協定に基づく取組）

(1) 体系図

生活機能の強化	医療	地域医療体制の充実	1 地域医療介護情報ネットワーク等事業
			2 在宅当番医制運営事業
	福祉	地域福祉の充実	3 障害支援区分認定審査会事業
			4 障害者相談支援事業
			5 基幹相談支援センター等機能強化事業
			6 地域活動支援センター事業
			7 気仙地域障がい者自立支援協議会事業
			8 成年後見制度利用支援事業
	教育	公共施設の利用促進	9 公共文化施設相互利用促進事業
			10 公共図書館等相互利用促進事業
			11 公共スポーツ施設相互利用促進事業
	産業振興	広域観光の推進	12 外国人観光客誘客促進事業
			13 広域物産振興事業
			14 広域観光振興事業
		産業振興の推進	15 国際リニアコライダー（ILC）誘致促進事業
			16 森林山村対策事業
			17 有害鳥獣対策事業
その他	廃棄物リサイクルの推進	18 ごみ処理費等負担金拠出事業	
	消費生活対策の充実	19 消費者保護対策事業	
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	交通ネットワークの維持・確保	20 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業
	地域内外の住民との交流・移住促進	移住・定住の促進	21 移住・定住促進事業
	その他	その他	22 結婚新生活応援事業
圏域マネジメント能力の強化	圏域内市町の職員の交流	職員合同研修などの実施	23 入札参加資格申請受付システム共同運用事業
			24 これからの時代に活躍する人材育成事業
			25 DX推進事業
			26 男女共同参画推進事業

(2) 生活機能の強化

① 医療

【協定の内容】 地域医療体制の充実

取組の内容	圏域住民が安心して暮らすことができるよう、医療機関や介護事業所、関係機関などと連携を図りながら、地域医療体制の充実に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	1 地域医療介護情報ネットワーク等事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	ICTネットワークを活用した医療・介護サービスの向上を図るため、法人による「未来かなえネット」等の取組を支援をする。					
期待される効果	ネットワークの広域化、情報共有による医療機関の連携強化等により、効率的な医療・介護サービスの提供が図られ、円滑な入退院支援や在宅看護等における適切な治療、医療費負担等の軽減につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		12,545	12,545	12,545	12,545	12,545
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、「未来かなえネット」を運営する一般社団法人未来かなえ機構の活動を支援するとともに、運営に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	医療等情報提供同意者加入率	21.4%		30.0%		
	地域医療情報ネットワークシステム参加施設数(累計)	41 施設		45 施設		

大船渡市 予算事業名	未来かなえ機構運営負担金事業(一般分)、母子保健事業(産婦人科・小児科オンライン分)
住田町 予算事業名	未来かなえ機構負担金事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	2 在宅当番医制運営事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	休日の日中における圏域住民の初期救急医療体制を確保するため、気仙医師会及び気仙歯科医師会と連携して、医科・歯科医療機関での休日診療を行う。					
期待される効果	初期救急医療体制の確保が図られるとともに、24時間体制で救急患者を受け入れている県立大船渡病院救命救急センターの負担軽減が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		4,937	4,937	4,937	4,937	4,937
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、休日の日中における医科・歯科医療機関での診療の実施に要する応分の費用を負担するとともに、当番医療機関の周知を図る。 大船渡市は、医科診療について、気仙医師会に業務を委託する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	休日における診療の充足率			100.0%	100.0%	
大船渡市 予算事業名	在宅当番医制運営事業					
住田町 予算事業名	在宅当番医運営事業					

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 福祉

【協定の内容】 地域福祉の充実

取組の内容	圏域住民が安心して暮らすことができるよう、関係機関などと連携を図りながら、適切な支援体制に基づく地域福祉の充実に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	3 障害支援区分認定審査会事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、医師、障害保健福祉の学識経験者で構成する「障害支援区分認定審査会」を共同で設置し、運営する。					
期待される効果	公平かつ効率的な障害支援区分審査が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		1,380	1,270	1,500	1,380	1,270
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、共同で障害支援区分認定審査会を設置し、運営に必要な応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	審査件数			109件	110件	

大船渡市 予算事業名	自立支援給付事業
住田町 予算事業名	自立支援給付事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	4 障害者相談支援事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障害者等からの相談に応じ、福祉サービスの利用支援、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助等を行う「障害者相談支援事業」を共同で実施する。					
期待される効果	障害者等に対する適切な支援が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		13,840	14,000	14,000	14,000	14,000
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は共同で相談支援業務を委託し、応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	相談者数（実人数）			329人	330人	
	相談支援件数			3,470件	3,500件	

大船渡市 予算事業名	障害者相談支援事業
住田町 予算事業名	障害者相談支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	5 基幹相談支援センター等機能強化事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、専門的職員（社会福祉士、精神保健福祉士保健師等）が、障害者等の複雑・困難な相談に総合的かつ専門的に対応するほか、地域の相談支援体制の強化を図る「障害者相談支援機能強化事業」を共同で実施する。					
期待される効果	障害者等に対する適切な支援のほか、地域における障害者等の支援体制の強化が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		4,096	4,100	4,100	4,100	4,100
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業					
役割分担	両市町は、共同で基幹相談支援センター等機能強化事業を委託し、応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	相談者数（実人数）			171人	175人	
	相談支援件数			1,343件	1,365件	

大船渡市 予算事業名	基幹相談支援センター等機能強化事業
住田町 予算事業名	基幹相談支援センター等機能強化事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	6 地域活動支援センター事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、在宅の障害者に対し、通所による創作活動や生産活動や社会との交流の機会を提供する、「地域活動支援センター事業」を実施する社会福祉法人に事業費を補助する。					
期待される効果	障害者の社会参加や自立への促進が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		14,996	15,000	15,000	15,000	15,000
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業（機能強化事業分）					
役割分担	両市町は、地域活動支援センターを運営する法人に対し、応分の費用を補助する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	登録者数			68人	70人	
	創作活動・活動支援・地域交流件数			1,630件	1,750件	

大船渡市 予算事業名	地域活動支援センター事業
住田町 予算事業名	地域活動支援センター事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	7 気仙地域障がい者自立支援協議会事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援し、障害者相談支援事業等の実績を評価するため、行政機関、障害者関係団体、相談支援事業者、福祉サービス事業者等で構成する「気仙地域障がい者自立支援協議会」を共同で設置し、運営する。					
期待される効果	障害者等に対する適切な支援と支援体制の確保が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		160	160	160	160	160
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、共同で障害者自立支援協議会を設置し、運営する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	協議会の開催回数			2回	2回	
	困難案件・重要課題等の検討件数			2件	8件	

大船渡市 予算事業名	—
住田町 予算事業名	—

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	8 成年後見制度利用支援事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>各市町が設置した成年後見支援センター（1次相談窓口）に対する包括的支援と地域連携ネットワークの機能を有する中核機関として、「気仙地区成年後見センター」を設置し、次の業務を実施する。</p> <p>1 1次相談窓口からの相談等への支援</p> <p>2 成年後見制度利用推進協議会の開催（地域課題の解決や権利擁護支援に向けた協議等）</p> <p>3 成年後見制度利用検討専門家会議の開催（多職種の協働による困難事案の検討等）</p>					
期待される効果	認知症や障害等で判断能力が十分でない人の権利と財産が守られ、安心して暮らすことができる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		5,105	5,105	5,105	5,105	5,105
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、気仙地区成年後見センターの運営に必要な応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	1次相談窓口からの相談等への支援件数			0件	15件	
	専門家会議の開催回数			2回	10回	

大船渡市 予算事業名	気仙地区成年後見センター運営事業
住田町 予算事業名	気仙地区成年後見センター運営事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 教育

【協定の内容】 公共施設の利用促進

取組の内容	圏域住民が健康で文化的な生活を営むための利便性の向上を図るため、文化施設や体育施設などの公共施設の相互利用の促進に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	9 公共文化施設相互利用促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	圏域の公共文化施設におけるイベント情報等について、相互に周知するとともに、両市町主催事業等における施設使用料を減免し、施設の相互利用の促進を図る。					
期待される効果	両市町が所有する公共文化施設の有効活用が図られるとともに、利用者の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施（大船渡市）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		1,230	1,230	1,230	1,230	1,230
活用を想定する補助制度等						
役割分担	大船渡市は、大船渡市民文化会館における住田町主催事業等の減免措置を継続し、住田町は、住田町農林会館における大船渡市主催事業等を同様に措置する。両市町は、公共文化施設において開催する相互のイベント情報等の周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	減免対象行事件数			1件	4件	
	共催事業件数			1件	1件	

大船渡市 予算事業名	市民文化会館費（指定管理料）
住田町 予算事業名	農業費（農林会館使用料）、社会教育総務費（バス運行料）

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	10 公共図書館等相互利用促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	圏域の公共施設の有効活用及び交流人口の拡大を図るため、公共図書館等の相互利用を促進する。					
期待される効果	多様化する住民ニーズに対応するとともに、圏域内の公共図書館等の利用者の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		1,377	1,377	1,377	1,377	1,377
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、大船渡市立図書館及び住田町中央公民館図書室の相互利用を促進し、各施設で開催するイベント等の情報について、相互に周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	相互利用登録者数(累計)			380人	410人	

大船渡市 予算事業名	図書館費
住田町 予算事業名	公民館費

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	11 公共スポーツ施設相互利用促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>スポーツ・レクリエーション活動の活性化及び住民交流を促進するため、圏域における公共スポーツ施設で開催されるイベント等の情報について、住民への周知を図る。</p> <p>また、圏域外の団体が、圏域のスポーツ施設を利用して宿泊を伴う合宿を実施する場合、その要する経費に対して、補助金を交付する。</p>					
期待される効果	多様化するニーズに対応するとともに、圏域内の公共スポーツ施設の利用者の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		800	800	800	800	800
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、それぞれが所有するスポーツ施設の利便性の向上に努め、公共スポーツ施設で開催されるイベント等の情報について、相互に周知を図るとともに、「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金」を運用する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	スポーツ施設の利用者数(大船渡市累計)			125,482人	130,000人	
	体育施設の利用者数(住田町累計)			34,629人	40,000人	

大船渡市 予算事業名	スポーツ交流推進事業
住田町 予算事業名	スポーツ交流推進事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 産業振興

【協定の内容】 広域観光の推進

取組の内容	圏域内の自然や文化などの地域資源を生かした観光振興を図るため、外国人を含む観光客の受入体制の整備や観光・物産素材の発掘、圏域外への情報発信やPRなどによる観光誘客及び販路拡大に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	12 外国人観光客誘客促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	台湾からの来訪者を始めとした外国人観光客向けのツアーの造成や受入体制の整備を図るとともに、欧米豪を中心としたみちのく潮風トレイルのハイカーの呼び込み等、広域での観光プロモーションを実施する。 また、国際交流員による魅力ある観光情報の発信等により、外国人観光客の誘客につなげる。					
期待される効果	外国人観光客の圏域への誘客促進により、広域観光の活性化が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		5,878	6,052	6,052	6,052	6,052
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、連携して外国人観光客の誘客促進に向けた取組を推進し、事業に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	両市町の外国人観光客入込数(暦年)			1,530人	4,790人	

大船渡市 予算事業名	外国人観光客受入対応事業
住田町 予算事業名	インバウンド対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	13 広域物産振興事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	三陸けせん希望ストリート連絡協議会や関係団体と連携して、圏域で生産・加工された商品を紹介する機会を設け、圏域事業者等の地場食材の活用促進を図るとともに、販路拡大を目的として、圏域外事業者等を対象にした商談会を開催する。					
期待される効果	圏域で生産・加工された商品等を商談会等で紹介することにより、販路拡大につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		650	650	650	650	650
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、三陸けせん希望ストリート連絡協議会や関係団体と連携して、圏域で生産・加工された商品等の販路拡大等に向けた商談会に取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	商談件数			5件	25件	

大船渡市 予算事業名	物産販路拡大事業
住田町 予算事業名	商工振興費（販路開拓支援事業）

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	14 広域観光振興事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	五葉山自然保護協議会、いわて観光キャンペーン推進協議会、岩手県観光協会、三陸ジオパーク推進協議会、三陸ジオパークけせん地域協議会の各団体において、圏域での観光客の周遊を促すため、三陸ジオパークを始めとしたそれぞれの観光資源を活用した広域観光の取組を推進する。					
期待される効果	三陸ジオパークや五葉山等の観光資源を活用した広域観光の取組により、観光客の周遊を伴う圏域への誘客促進が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		3,092	2,538	3,092	2,538	3,092
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、関係団体と連携して、情報交換や地域資源の調査・研究を実施し、広域観光の推進に取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	両市町の観光客入込数(暦年)			707,531人	1,000,800人	

大船渡市 予算事業名	広域連携観光振興事業
住田町 予算事業名	観光費

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【協定の内容】 産業振興の推進

取組の内容	圏域内の産業特性を生かした産業・経済の活性化を図るため、共通の地域資源を有する第一次産業の振興、国際リニアコライダー（ILC）の誘致・実現などを見据えた新たな展開の創出に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	15 国際リニアコライダー（ILC）誘致促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けた各市町及び参画団体による取組（講演会等）を実施・支援するとともに、広く周知する。 ILCに関連した活動へ参加する。					
期待される効果	ILCの実現に向け、住民等の関心の向上及び機運の醸成が図られる。 また、ILCに関連した科学技術に対する児童等の興味・関心が高まる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		1,771	1,771	1,771	1,771	1,771
活用を想定する補助制度等						
役割分担	ILC実現に関連するイベント、講座、各種会議等の情報を相互に共有し、参加又は住民等への周知を行う。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	ILC関連活動回数	29回		40回		

大船渡市 予算事業名	国際リニアコライダー誘致促進事業
住田町 予算事業名	国際リニアコライダー誘致促進事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	16 森林山村対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	私有林の健全な育成を促進し、森林の公益的機能の維持増進を図るため、森林環境譲与税等を活用しながら、適切な管理に係る取組を支援するとともに、担い手の確保及び人材育成対策として、各種研修会の共同実施等に取り組む。					
期待される効果	温室効果ガスの排出量削減、自然災害防止等が図られるほか、林業の新たな担い手確保や、経済的価値の向上が図られることにより、林業経営の活性化につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		43,596	34,000	36,000	34,000	34,000
活用を想定する補助制度等						
役割分担	<p>両市町は、森林所有者から林業団体等が受託して行う事業へ助成するとともに、活動組織が実施する山林等の保全管理や活性化の取組、担い手育成のための研修会の開催等に共同で取り組む。</p> <p>住田町は、ICTを活用したスマート林業の導入促進に向けた研修会等について、大船渡市と情報共有を図りながら、気仙地方森林組合と連携して取り組む。</p>					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	保全事業実施面積	55.4ha		130ha		
	研修会の開催回数(累計)	0回		5回		

大船渡市 予算事業名	森林・山村地域活性化振興対策交付金事業、森林整備推進事業、森林経営管理(森林整備)事業
住田町 予算事業名	森林・林業担い手対策事業、森林・山村地域活性化振興対策交付金事業、FSCの森整備事業、FSC森林認証林高齢級間伐事業、林業振興対策事業、林地流動化再造林推進事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	17 有害鳥獣対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	シカやサル、イノシシ等による農林業被害を抑制するため、先進的あるいは広域連携での取組事例について調査・研究する。 また、捕獲を担う狩猟者の確保や育成を図るため、新規狩猟者等に対する助成制度の充実や研修機会の創出に努める。					
期待される効果	有害鳥獣の人里での活動範囲の縮小、農作物被害の削減等が図られるとともに、狩猟者の捕獲活動等の維持・継続につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		50,204	50,145	50,145	50,145	50,145
活用を想定する補助制度等	鳥獣被害防止総合支援事業費補助金					
役割分担	両市町は、被害・出没状況の把握に努め、被害防除対策の普及推進、新規狩猟者の免許取得等への助成、新たな担い手の確保、有害鳥獣の捕獲強化を図るとともに、ICTを活用した新たな技術の導入について調査・研究し、圏域での普及を目指す。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	シカ年間捕獲頭数	2,144 頭		2,600 頭		
	イノシシ年間捕獲頭数	46 頭		50 頭		
	狩猟免許保有者数	100 人		125 人		

大船渡市 予算事業名	シカ防護網普及事業、鳥獣被害防止対策事業、大船渡市鳥獣被害対策推進員設置事業、大船渡市鳥獣被害対策実施隊設置事業
住田町 予算事業名	シカ防護網等緊急設置事業、鳥獣被害防止総合支援事業、住田町狩猟免許等取得補助金、緊急捕獲活動支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ その他

【協定の内容】 廃棄物リサイクルの推進

取組の内容	圏域内における循環型社会の形成を図るため、排出される廃棄物を資源として有効利用するリサイクル体制の確立に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	18 ごみ処理費等負担金拠出事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>大船渡地区環境衛生組合へ負担金を拠出することで、家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源古紙等を分別収集し、リサイクルを推進する。</p> <p>また、令和7年4月からのペットボトルのマテリアルリサイクル（再資源化）の開始に当たり、適時適切な周知を図りながら、更なる処理適正化を図る。</p>					
期待される効果	資源の有効活用と廃棄物排出量の削減が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		218,181	233,066	224,473	251,848	245,478
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、大船渡地区環境衛生組合に負担金を支出する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)			目標値 (R11)	
	資源化率(%) ※ごみ排出量に占める資源ごみの割合	6.3%			7.0%	

大船渡市 予算事業名	塵芥処理費
住田町 予算事業名	塵芥処理費

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【協定の内容】 消費生活対策の充実

取組の内容	圏域住民の消費生活における犯罪などの被害を防ぎ、安全を確保するため、消費生活センターの機能強化に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	19 消費者保護対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	大船渡市消費生活センターの共同運営により、圏域住民を対象として、訪問販売、悪質商法、消費者金融からの借入れ等に係る消費生活相談を実施する。					
期待される効果	人材（消費生活相談員）確保等が効率的に図られるとともに、情報共有等により、消費者被害の未然防止につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		5,510	5,757	6,004	6,251	6,498
活用を想定する補助制度等	地方消費者行政強化交付金					
役割分担	両市町は、情報を共有し、消費者被害の防止に努めるとともに、事業に要する応分の費用を負担する。 大船渡市は、生活相談員を国指定の研修会に参加させる等、専門知識習得によるレベルアップを図る。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	被害の未然防止のための啓発件数			11件	15件	

大船渡市 予算事業名	消費者保護対策事業
住田町 予算事業名	消費生活対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

【協定の内容】 交通ネットワークの維持・確保

取組の内容	圏域住民の日常生活における交通手段の確保を図るため、交通事業者などと連携しながら、利便性向上や効率化を踏まえた交通ネットワークの構築に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	20 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町間を結ぶ広域生活バス路線の大船渡住田線の運行を維持するため、運行に係る事業者負担分について、当該路線に係る国庫補助金活用後の損失額を両市町で補填し、圏域住民の交通手段を確保する。					
期待される効果	圏域住民の買い物、通院、通学等日常生活を支える交通手段の確保が図られるほか、国庫補助金を活用しながら、両市町で運行事業者を支援することにより、財政負担が最小限に抑えられる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
活用を想定する補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)、バス運行対策費岩手県補助金、地域バス交通支援事業費補助金、地域公共交通活性化推進事業費補助金					
役割分担	両市町は、各管内のバス路線の経路・便数の効率化を図り、市町間の住民の交通手段の確保に取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	平均乗車密度			2.3人	4.0人	

大船渡市 予算事業名	広域生活バス路線維持支援事業
住田町 予算事業名	公共交通対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 地域内外の住民との交流・移住促進

【協定の内容】 移住・定住の促進

取組の内容	圏域内からの人口流出を防止し、移住・定住人口の増加を図るため、圏域の情報発信やPR、交流・関係人口の拡大、結婚や子育て支援の強化などに向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	21 移住・定住促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>移住コーディネーターを配置し、圏域への移住・定住を促進するとともに、移住者等のネットワークを構築しつつ、移住後のフォローも含めた相談体制の強化に取り組む。</p> <p>両市町それぞれの特性を生かし、地域の活性化につながる関係人口の増加に向けて取り組む。</p>					
期待される効果	圏域への移住・定住や地域との関わりを持ちたいと検討している人の選択肢を広げることにより、移住・定住人口及び関係人口の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		40,086	40,086	40,086	40,086	40,086
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、連携して相談・受入体制を強化するとともに、効率的な移住・定住関連施策の推進を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	移住者数	109人		220人		
	共同での移住イベント開催数	0回		2回		

大船渡市 予算事業名	移住・定住促進事業
住田町 予算事業名	移住支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	22 結婚新生活応援事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	結婚に伴う新生活のスタートアップ費用（新婚世帯の住居費、リフォーム費用及び引越費用等）の一部を助成する。					
期待される効果	新婚世帯の経済的不安を軽減し、結婚、出産、子育てしやすい環境を整備することで婚姻数の増加が図られるとともに、定住促進につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
活用を想定する補助制度等	地域少子化対策重点推進交付金					
役割分担	両市町は、それぞれ要件を満たす新婚世帯の住宅関連費用の一部を助成する。 本事業について、情報共有を図るとともに、相互に連携して新婚世帯へ周知し、推進を図る。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (R5)	目標値 (R11)	
	申請世帯数			0世帯	16世帯	

大船渡市 予算事業名	結婚新生活応援事業
住田町 予算事業名	結婚新生活支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ その他

【具体的な取組内容】

事業名	23 入札参加資格申請受付システム共同運用事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町が、共同で入札参加資格審査申請受付システムを運用する。					
期待される効果	システムの共同運用により、事業者は、ネットワーク上での両市町への資格申請が可能になる等、手続のデジタル化及び事務の効率化が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	導入	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		2,150	2,150	2,150	2,150	2,150
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、共同で入札参加資格申請受付システムを運用し、必要な応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標	現状値 (R5)		目標値 (R11)		
	各事業者が入札参加資格申請1件当たりに費やす時間	50分		10分		

大船渡市 予算事業名	財産管理費事業
住田町 予算事業名	入札参加資格申請受付システム共同利用負担金

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(4) 圏域マネジメント能力の強化

① 圏域内市町の職員の交流

【協定の内容】 職員合同研修などの実施

取組の内容	圏域内の自治体職員の資質向上や育成を図るため、合同研修などの実施による圏域マネジメント能力の強化などに向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	24 これからの時代に活躍する人材育成事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町職員を対象に合同で講義やグループワークを行い、社会情勢、これからの時代に求められる職員像、圏域行政のあるべき姿等について理解を深める。					
期待される効果	自治体行政を支える人材育成、職員の意欲喚起、圏域マネジメントを意識した行政手法の共有が図られるとともに、両市町（自治体）の变革が促進される。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		500	500	500	500	500
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、共同で研修企画、準備、受講者確保、実施、評価等を行うとともに、事業に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)			目標値 (R11)	
	合同研修実施回数（累計）	5回			17回	

大船渡市 予算事業名	職員研修事業
住田町 予算事業名	職員研修事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	25 DX推進事業(注1)					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町において、デジタル技術の活用と行政の「X」(トランスフォーメーション)を進めながら、それらの成果を共有した上で、より効果的な事業の推進を図る。					
期待される効果	DX推進人材の育成により、体質改善を通じた行政経営の強化・安定化が図られる。 行政DXにより、生産性の向上が図られることにより創出されるリソースを相談業務や企画立案等、付加価値の高い取組に投資することができる。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		11,489	12,470	12,470	12,470	12,470
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、必要な情報を収集・共有し、より効果的なDXの推進を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (R5)			目標値 (R11)	
	新しい地方経済・生活環境創生交付金等を活用したデジタル実装件数(累計)	4件			16件	
	DX研修・セミナーの職員参加数	55人			140人	
大船渡市 予算事業名	DX推進事業					
住田町 予算事業名	自治体DX推進事業					

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(注1) DX(デジタルトランスフォーメーション): デジタルの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

【具体的な取組内容】

事業名	26 男女共同参画推進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>圏域における男女共同参画社会の形成を促進するため、両市町が策定する女性の活躍推進のための特定事業主行動計画の達成に努めるとともに、各種審議会等における女性委員の登用促進を図る。</p> <p>また、情報共有を図りながら、圏域住民を対象とした意識啓発や活動の実践に資する講座等を開催し、男女共同参画を推進する。</p>					
期待される効果	女性の活躍の推進、男女共同参画についての意識啓発及び具体的取組の促進が図られ、男女共同参画社会が形成される。					
実施スケジュール	取組内容	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		363	363	363	363	363
活用を想定する補助制度等						
役割分担	両市町は、情報共有を図りながら、男女共同参画関連事業を実施するとともに、周知を図る。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標	現状値 (R5)			目標値 (R11)	
	各種審議会等における女性委員の登用率	32.3%			40.0%	
	圏域住民を対象とした講座等の開催回数 (累計)	9回			20回	

大船渡市 予算事業名	男女共同市民会議等事業
住田町 予算事業名	男女共同参画関連事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。